



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 日本カーボン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5302 URL <http://www.carbon.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 尚史  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務統括部長 (氏名) 今井 浩二 TEL 03 (6891) 3730  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 2020年9月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	13,710	△42.7	2,248	△74.7	2,199	△74.5	1,174	△79.1
2019年12月期第2四半期	23,917	20.8	8,885	58.9	8,637	52.0	5,612	50.4

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 494百万円 (△91.9%) 2019年12月期第2四半期 6,121百万円 (69.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	106.18	—
2019年12月期第2四半期	507.34	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	72,881	50,919	60.9	4,012.80
2019年12月期	77,939	51,654	57.9	4,080.33

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 44,407百万円 2019年12月期 45,140百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2020年12月期	—	100.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,700	△29.4	4,600	△69.0	4,100	△72.9	2,800	△71.1	253.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	11,832,504株	2019年12月期	11,832,504株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	766,008株	2019年12月期	769,438株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	11,064,445株	2019年12月期 2 Q	11,062,988株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当連結会計期間における重要な子会社の異動)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税後のGDP成長率下落に加え、新型コロナウイルスの世界的感染拡大による影響から輸出が減少するなど、落ち込みが顕著となりました。有効求人倍率の悪化が続くなか、各種イベントや消費の自粛が求められ、企業マインドの悪化が続きました。

世界経済は、米国では、3月以降の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、経済の減速が鮮明になりました。また、欧州では、昨年から続く輸出や鉱工業生産の下落傾向に加え、新型コロナウイルスの感染拡大により、さらなる経済の縮小が起こりました。一方、中国では、経済活動の再開を急いだ結果、工業生産は底打ちしています。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります鉄鋼産業は、鋼材受注の減少が継続し、さらなる生産の減少が懸念されます。半導体関連産業は、スマートフォン・自動車・産業機械など最終製品の生産が停滞した一方、先端ロジックおよびファウンドリーの積極投資は続きました。今後データセンタ需要の急増を背景に設備投資の回復が見込まれます。

こうした事業環境の中、当社グループは、生産効率の向上と原価および環境負荷の低減を目的とした生産設備の拡充や、販売力を高めるための販売網強化を推進してまいりました。また、企業市民として、コンプライアンス体制の一層の強化・拡充と最良の製品を通して広く社会に貢献すべく品質管理の徹底を推進してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高137億1千万円（前年同四半期比42.7%減）、営業利益22億4千8百万円（同74.7%減）、経常利益21億9千9百万円（同74.5%減）親会社株主に帰属する四半期純利益11億7千4百万円（同79.1%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

## (炭素製品関連)

電極部門は、電極市場の需要減により、販売量は前年同四半期と比べ大幅に減少しました。

ファインカーボン部門は半導体関連市場における在庫調整局面が続きました。リチウムイオン電池負極材は、自動車の生産が停滞し車載向けの販売量が落ち込みました。

この結果、売上高は122億8千2百万円（前年同四半期比45.3%減）、セグメント利益（営業利益）は19億4千万円（同77.7%減）となりました。

## (炭化けい素製品関連)

炭化けい素連続繊維の製造・販売については、第1四半期に引き続き、概ね想定通りに推移しました。

この結果、売上高は10億4百万円（前年同四半期比14.4%増）、セグメント利益（営業利益）は1億7千3百万円（同1,661.8%増）となりました。

## (その他)

その他の事業は、産業用機械の製造・販売が減少した結果、売上高は4億2千2百万円（前年同四半期比27.4%減）、セグメント利益（営業利益）は1億2千7百万円（同29.2%減）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は728億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億5千7百万円減少しました。流動資産は、売上債権の減少46億6千8百万円、現金及び預金の減少8億9千万円、たな卸資産の増加6億9千1百万円等により、456億7千4百万円と前連結会計年度末に比べ49億3千2百万円の減少となりました。固定資産は、有形固定資産の増加8億7千7百万円、投資有価証券の減少12億3千4百万円等により272億7百万円と前連結会計年度末に比べ1億2千4百万円減少しました。

負債は219億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億2千2百万円減少しました。流動負債は、仕入債務の減少18億8千4百万円、未払法人税等の減少12億5千4百万円等により174億2千3百万円と前連結会計年度末に比べ33億1百万円減少しました。固定負債は、長期借入金の減少6億1千5百万円等により、45億3千8百万円と前連結会計年度末に比べ10億2千1百万円減少しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益11億7千4百万円がありましたが、配当金の支払11億6百万円およびその他有価証券評価差額金の減少8億1千4百万円等により509億1千9百万円と前連結会計年度末に比べ7億3千4百万円減少しました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ8億9千万円減少し、168億1千6百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な内容は、次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュフローは、仕入債務の減少額18億8千万円、法人税等の支払額17億5千1百万円およびたな卸資産の増加額6億9千1百万円がありましたが、売上債権の減少額46億6千4百万円、税金等調整前四半期純利益19億5千2百万円並びに減価償却費10億5千万円等により、33億1百万円の収入（前年同四半期 20億1百万円の収入）となりました。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュフローは、主に有形固定資産の取得による支出29億9千2百万円等により、30億2千万円の支出（前年同四半期 18億5千9百万円の支出）となりました。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュフローは、短期借入金の純増額7億円がありましたが、配当金の支払額11億6百万円および長期借入金の返済による支出6億1千5百万円等により、11億7千万円の支出（前年同四半期 12億3千2百万円の支出）となりました。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しております。そのため、現時点において2020年5月11日に発表いたしました2020年12月期の業績予想は修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,852	16,961
受取手形及び売掛金	14,010	9,342
商品及び製品	9,153	10,278
仕掛品	4,829	4,510
原材料及び貯蔵品	4,220	4,104
その他	562	501
貸倒引当金	△20	△24
流動資産合計	50,607	45,674
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,680	16,846
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,536	△9,661
建物及び構築物（純額）	7,144	7,184
機械及び装置	44,008	45,139
減価償却累計額及び減損損失累計額	△37,232	△37,670
機械及び装置（純額）	6,775	7,469
車両運搬具及び工具器具備品	3,264	3,325
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,708	△2,792
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	555	532
土地	3,523	3,523
建設仮勘定	821	987
有形固定資産合計	18,820	19,697
無形固定資産		
投資その他の資産	160	179
投資有価証券	6,044	4,809
繰延税金資産	371	399
その他	1,946	2,127
貸倒引当金	△10	△5
投資その他の資産合計	8,351	7,330
固定資産合計	27,332	27,207
資産合計	77,939	72,881

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,821	3,937
短期借入金	8,390	9,090
未払費用	1,118	1,302
未払法人税等	1,995	741
賞与引当金	214	630
役員賞与引当金	96	27
工場移転関連費用引当金	317	148
その他	2,770	1,545
流動負債合計	20,725	17,423
固定負債		
長期借入金	3,637	3,022
繰延税金負債	569	188
退職給付に係る負債	757	742
役員退職慰労引当金	43	49
役員株式給付引当金	70	59
環境対策引当金	28	28
資産除去債務	62	62
その他	390	384
固定負債合計	5,559	4,538
負債合計	26,284	21,962
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,402	7,402
資本剰余金	7,857	7,857
利益剰余金	29,689	29,758
自己株式	△1,921	△1,911
株主資本合計	43,028	43,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,129	1,315
為替換算調整勘定	49	45
退職給付に係る調整累計額	△66	△60
その他の包括利益累計額合計	2,112	1,300
非支配株主持分	6,513	6,512
純資産合計	51,654	50,919
負債純資産合計	77,939	72,881

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	23,917	13,710
売上原価	12,215	9,303
売上総利益	11,702	4,406
販売費及び一般管理費	2,816	2,157
営業利益	8,885	2,248
営業外収益		
受取配当金	67	69
受取保険金	-	68
投資有価証券売却益	-	20
その他	134	43
営業外収益合計	202	202
営業外費用		
支払利息	43	35
持分法による投資損失	28	81
為替差損	19	8
固定資産除却損	159	45
休止固定資産減価償却費	59	72
その他	140	9
営業外費用合計	450	252
経常利益	8,637	2,199
特別損失		
火災損失	-	247
特別損失合計	-	247
税金等調整前四半期純利益	8,637	1,952
法人税、住民税及び事業税	2,819	666
法人税等調整額	△46	△26
法人税等合計	2,773	640
四半期純利益	5,863	1,311
非支配株主に帰属する四半期純利益	251	137
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,612	1,174



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	5,863	1,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	287	△819
繰延ヘッジ損益	△1	-
為替換算調整勘定	△51	△4
退職給付に係る調整額	23	6
その他の包括利益合計	257	△817
四半期包括利益	6,121	494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,889	365
非支配株主に係る四半期包括利益	232	129

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,637	1,952
減価償却費	895	1,050
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△50	21
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	5
受取利息及び受取配当金	△68	△69
受取保険金	-	△68
工場移転関連費用引当金の増減額 (△は減少)	△73	△169
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△20
固定資産除却損	159	45
火災損失	-	247
支払利息	43	35
持分法による投資損益 (△は益)	28	81
売上債権の増減額 (△は増加)	941	4,664
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,089	△691
未収入金の増減額 (△は増加)	△15	128
仕入債務の増減額 (△は減少)	△861	△1,880
未払金の増減額 (△は減少)	△283	△179
未払費用の増減額 (△は減少)	557	77
その他	△390	△288
小計	6,432	4,939
利息及び配当金の受取額	68	69
利息の支払額	△43	△35
法人税等の支払額	△4,503	△1,751
保険金の受取額	46	78
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,001	3,301
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,850	△2,992
無形固定資産の取得による支出	△5	△55
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	-	31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,859	△3,020
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	60	700
長期借入金の返済による支出	△597	△615
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1	△1
配当金の支払額	△554	△1,106
非支配株主への配当金の支払額	△140	△147
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,232	△1,170
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,100	△890
現金及び現金同等物の期首残高	19,602	17,707
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,501	16,816

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当連結会計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役等に対する株式給付信託 (BBT) 導入)

当社は、取締役等の中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託 (BBT)」を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規定に従って、当社株式および当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価格(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第2四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額は116百万円、株式数は389百株、当第2四半期連結会計期間の期中平均株式数は410百株となります。また、1株当たり情報の算定上、控除する自己株式に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,456	878	582	23,917	-	23,917
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	386	386	△386	-
計	22,456	878	969	24,304	△386	23,917
セグメント利益	8,688	9	179	8,877	8	8,885

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,282	1,004	422	13,710	-	13,710
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	6	585	592	△592	-
計	12,283	1,011	1,008	14,303	△592	13,710
セグメント利益	1,940	173	127	2,240	7	2,248

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。